



福島と繋がる移動例会の開催

日時 : 平成29年4月13日(木)~平成29年4月14日(金)1泊2日

行先 : 福島県・会津若松方面

宿泊先 : 東山温泉 庄助の宿 瀧の湯

参加者 : 25名

1日目:4月13日(木)

横浜駅西口天理ビル前を午前7時20分に福島へ向けて出発した。途中、高速道のパーキングエリアで4回休憩をとり、午後12時30分に最初の訪問先である根本邸に到着した。

こちらで、移動例会と根本様との交流を兼ねて会食をした。

移動例会に入る前に、根本さんのご主人様の東日本大震災の福島の被害や避難についての生の声を聴き、横濱プロバス倶楽部参加者全員の驚きの様子が伺えた。

続いて、根本さんの奥様の歓迎の挨拶があった。



第182回 移動例会

○会長挨拶 岩城会長

こんにちは。今の言葉を聞いたら、言葉がありません。

今回の交流が、根本さんと横濱プロバスの発展に繋がると良いですね。

○誕生日お祝い品贈呈 持田 会員委員長

4月誕生 宮川清彦(4/3)松本和夫(4/8・休み)小野寺あい子(4/17)

平山秀樹(4/20・休み)須藤照夫(4/25)金子利成(4/27)

○同好会活動と予定

- ・ボウリング同好会 4/26(水) 15:00~ ラウンドワン
- ・英会話勉強会 4/28(金) 15:00~17:00 東ビル
- ・ゴルフ同好会 6/6(火) 伊勢原カントリークラブ
- ・海山同好会 5/25(木) 11:00~ 野島公園



移動例会終了後、会食をしながら根本さんとの交流ができ、大変有意義であった。

根本邸を午後2時10分に出発して、野口英世記念館へ向かった。到着後、記念館と生家を見学したが、1歳半の時に火傷を負ってしまった囲炉裏や医師になるために上京する際に決意の言葉を刻んだ床柱を見ることができた。

また、野口英世は横浜と縁があり、横浜海港検疫所の検疫医官補として勤務しており、現在、長浜野口記念公園内に旧細菌検査室を見ることができる。

見学後、午後4時20分に東山温泉に向けて出発し、途中、薄皮まんじゅうで有名な柏屋に立ち寄り、宿泊先の庄助の宿 瀧の湯へ午後5時15分に到着した。

到着後、自由時間となり午後6時30分から根本さんの奥様、草薙さんが加わり宴会が始まった。途中から平野さんの名調子による司会でカラオケ大会となり、大いに盛り上がり終了時間を20分オーバーして終了した。

終了後、幹事部屋で二次会となり、夜遅くまで懇親ができ1日目の行程が終了した。



2日目 4月14日(金)

昨日同様、素晴らしいお天気に恵まれ、午前8時48分飯盛山・白虎隊史跡へ向かった。

到着後、現地ガイドの案内で動く歩道に乗り、頂上まで行き白虎隊の墓をお参りして下ってくる途中のさざえ堂を外から見学し、最後に女性による剣舞の観賞があり、使用している刀が真剣のように見えて迫力満点であった。

午前10時06分鶴ヶ城へ向けて出発した。到着後、ボランティアガイドの案内で説明を聞いた後、天守閣内の見学は各自で見学した。特に最上階の展望層は、雄大な会津の景色と城下町を一望でき、とてもすばらしかった。

鶴ヶ城見学後、昼食をとるため会津若松駅近くのお寿司屋でソースかつ丼をいただいたが、すぐくボリュームがあり持て余している人も見受けられた。



昼食後、大内宿へ向かった。午後1時50分に到着した。大内宿は日本三大宿の一つで会津から日光へ抜ける会津西街道の宿場町であった。

茅葺き屋根の民家が並んでいて、重要伝統的建物群となっている。特に一番奥の高台にある見晴台から見た景色は最高であった。

最後の見学地は、塔のへつりで午後3時10分に到着。へつりとは会津の方言で断崖のこと。長い時間のなかで、川の水や風雨によって浸食、風化を繰り返して削られた断崖が見事であり、さらに、川の水の色が緑色で綺麗でした。

見学後、道の駅「しもごう」に立ち寄り、横浜へ向かった。

横浜到着は、午後8時25分で予想より早く到着した。

最後に今回の移動例会は、2日間とも良いお天気に恵まれ、福島の歴史ある町の観光ができ、温泉にも宿泊し、根本さんとの交流も成功裏に終わり大変有意義でした。



(持田会員の道中記より)

< 例会報告 >

第180回 2月例会 2/10(金) 進交会館 出席者33名

○会長挨拶



2月なのに、未だに「おめでとう」。良い言葉ですね。

本日の例会は第180回です。記念すべき例会ですね。

今月の歌は「早春賦」。良い歌ですね。平山会員よろしくお願ひいたします。

横浜山手ロータリークラブの25周年記念例会に出席してまいりました。

横浜山手ロータリークラブのお陰で当倶楽部が誕生したわけで、御礼申し上げ、感謝申し上げたいと思います。

2~3日前、九州宮崎・高千穂に行つてまいりました(私の出身は都城です)。

天岩戸に行き素晴らしい神話・伝説を聞いてまいりました。

本日もよろしくお願ひいたします。

○ビジター紹介



松原 孝明 氏

紹介者: 宮川会員 40年来の知合いです。関内にビルを所有されています。

自己紹介 宮川さんとは40数年のお付き合いで素晴らしい先輩です。

プロバスで横浜に来られるたびに電話を頂いておりました。

知り合いの青木さんも同じプロバスなので仲間に入れて頂きたい。

今後ともよろしくお願ひいたします。

○誕生日お祝い品贈呈

2月誕生日	西山節夫 会員	本日欠席
	田村 剛 会員	本日欠席

乙幡重治 会員

2月26日で92歳になります。超高齢者です。

90歳を過ぎると体力が落ちますが、

まだ手足は動きます。

今年1年よろしくお願ひいたします。



月の歌の前に 1月誕生日の小磯会員登場、持田委員長よりお祝い品贈呈。

小磯智功 会員

お祝いをしてくれるのはプロバスだけです。

ありがとうございました。



平山会員の指揮で「ハッピーバースデー」を唱和。乙幡会員、小磯会員おめでとうございます。

第181回 3月例会 3/17(金) 進交会館 出席者33名

開会に先立ち、東日本大震災を追悼し 黙祷。



○会長挨拶

3月は別れの時期ですね。
小学校、中学校の卒業式がある頃ですね。
本日、福島より 根本 フク氏、東山 仁美氏、草薙 京子氏 の方々、
そして 横浜山手ロータリークラブの大場 英男氏 のご参加を頂いております。
また、福島のお土産を頂きました。ありがとうございました。
本日もよろしくお願いいたします。



○新入会員紹介 松原 孝明 氏 紹介者:宮川会員



入会させて頂きありがとうございました。
自分のできることで会に貢献していきたいと思っております。
よろしくお願いいたします。

会長より バッジ、ブルゾンの贈呈

○誕生日お祝い品贈呈 3月誕生日:該当者なし

○全日本プロバス協議会報告:全日本プロバス協議会 森山全日本幹事長

本日、福島より3名の方がお見えになりました。
根本フクさんが当倶楽部の平野会員と小学校の同級生であったとのことで、
平野会員より紹介いただきます。

平野会員:戦時中、福島に疎開した時に根本さんと小学校3年まで一緒しました。
そのことが縁で、今回移動例会を福島で開催することになりました。
よろしくお願いいたします。

根本フク氏:福島出身、75歳です。「何か社会に貢献できることはないか?」と
平野さんに相談し、今回横浜にお邪魔することになったわけです。

自身は、仲人を数多くつとめ、現在も結婚相談をお受けしています。

メンバー紹介 東山さん:中国・杭州出身です。

草薙さん:民宿やお食事処のお手伝いを頂いております。



○ダニエル山田会員の時事解説

<北朝鮮の動向>

日本は平和な国です。
これは本当にありがたいことです。
私は16歳の時、北朝鮮で中共、北朝鮮と戦いました。
北朝鮮は日本のすぐ隣の国なのに、
日本人は北朝鮮のことを何も知らない。



北朝鮮の元国家元首・故金日成は元々は馬賊の首領だった。
その金をソ連が見出し、日本軍を襲うようそそのかし自軍に取り込んだのである。
昭和20年2月のヤルタ会談で戦後の取り分を決め、ソ連は原爆投下後日ソ不可侵条約を破り
北方領土を強奪、在韓の日本軍の武装解除を行い、北をソ連、南をアメリカの管轄下に置く。
その後の朝鮮戦争の南北休戦ラインが「38度線」である。
このときソ連が朝鮮の代表を金日成にしたのである。
元々の血筋もはっきりしない金一族では国を統治できるとは思っていない。

では、今の北朝鮮にどう対処するか？
先日のミサイル4発の同時発射！
今、大変危険な状況にあることは確かである。
また、お話をさせていただきます。

第183回 5月例会 5/12(金) 進交会館 出席者31名



13:00 岩城会長、須藤幹事が鎌倉プロバス15周年記念出席のため

加藤副幹事の発声で 例会前の昼食 今回は幕の内弁当

○副会長挨拶 荻原 副会長 &ゲスト紹介



本日は、岩城会長、須藤幹事、そして全日本の中村会長、森山幹事長が
鎌倉プロバスクラブの15周年に出席しておりますので代わって挨拶を
させていただきます。
先月の福島への移動例会お疲れさまでした。又、たくさんの写真もありがとう
ございました。
今日は、横浜山手ロータリークラブ・社会奉仕委員長の平賀 泉さまを
お迎えしています。
本日もよろしくお願いいいたします。

○ゲスト紹介 横浜山手RC 平賀 泉 様



皆様こんにちは。横浜山手ロータリークラブの平賀です。
現在、クラブでは社会奉仕委員長をしておりますが、6月で最終月となります。
横濱プロバスクラブはいつも楽しく、落ち着かせていただいております。
今後ともよろしくお願いいいたします。

○誕生月お祝い品贈呈

未贈呈者 田村剛会員 (2/19)

昭和15年2月19日生、広島出身です。
原爆が落とされたときは5歳でした。
爆心地からは離れていましたが、爆音が聞こえたことを
覚えております。



松本和夫会員 (4/8)

昭和19年4月8日生、先祖代々 横浜です。
病気でしばらく休んでおりましたが、手術も終え
ほぼ回復しました。
いろいろとありがとうございました。



< 5月誕生月 >

平野正弘会員 (5/7)

昭和16年の生まれです。
小学校の時疎開し、福島に行っておりました。
先月の移動例会のこと、6月のプロバスクラブ設立に
向けてのこと等々、福島の方々から御礼がありました。



佐川由紀子会員 (5/17)

60歳まであと1年とチョットです。
まだまだ仕事中心ですが、プロバスにも出席しますので
今後ともよろしく願います。



< 会員放談特集 >

2017年2月 小野寺 あい子 会員



「従順と反発の狭間で」

私は山形県庄内地方に生まれ育ち、両親の教育方針は時代の背景もあって良妻賢母になりなさいと云うこと
でした。東京家政大学短大へ進み家事全般について勉強し、将来は料理の道へ進むか手芸の方へ選択するか
信じて疑いませんでした。

しかし思いもよらぬ夫の非業の死によって私と三人の子ども達は茨の道を歩むことになっていきます。
横浜に住むようになったのは、妹が中学校の教師をしていましたので、その後もどんなに強く生きるパワーを
いただいたか、頼れる存在でございました。

スミセイとの出会いは、小学校PTAの集まりの時、当時の校長先生とスミセイの支社長が同じ大学だったとの
ことで事務員を募集していると云われ、福利厚生面が堅実な会社へは入れたらと内心考えました。桜木町の
ビルへ同行し、面接官という人が貴女は営業ができます と云われあれよあれよと云う間に所定のコースを終り
第一営業に配属されたのです。昭和48年3月のことでした。

さて、此処で私が申し上げたいことは、何の力もないこんなちっぽけな私が突然営業第一線に立たされて
大企業の壁に向かってどのように攻略して行ったかを理解して頂ければ幸甚に存じます。

大企業には各セイホの営業レディが入れかわり立ちかわり凌ぎを削っていました。競合の激しい中を
どうやって拓大していけば良いのやら途方にくれるばかりでございました。考えた揚句、ハガキ作戦を展開し
アンケートをいただいた方々にすぐ礼状を書き、必ず末尾に つづく と書き入れました。次第に 続きがあるの？
とか 続きはまだ届いてないよ などと声がかかるようになって大分浸透していきました。

そんな或る日、付箋の貼られたハガキが戻されたのでお客様に持参した所、何ともバツの悪そうな顔で
ホントに出してくれとは思わなかったんだよ と云われYさんが企業活動での成約第一号になって下さい
ました。地道な努力が報われるように手応えを感じはじめていたのですが、その日の活動を終えて通用門を
出たとき、セイホ同志の胸ぐらをつかみ合っの喧嘩の場面に遭遇しお客様の取り合いによるものだろうと
察しました。苛酷な競争を避けたい私はせめてのびのび仕事が出来るところはないものかと新規開拓で大黒大橋
を渡りました。

時あたかもベイブリッジの建設途上で多くのジョイント企業が進出していました。最初に訪問したのが大手建設さんのプレハブ事務所でした。こんな所へ女性は来ませんよ！ 貴女が初めてです。と大変珍らしがられ次第に輪が広がっていききました。スミセイの会報やベストブック、小物のサービス物品を配布しながらアンケートを頂いている所へ所長さんが うちで只一人の独身男と云いながら、「スミセイさんこいつに誰か良い人いませんか？ 良縁になればみんなが応援するよ」とおっしゃたのです。好印象のTさんはそのとき26歳でした。私はどういう人がタイプですかと聞きましたら、「自分は納豆の好きな女性が好きであります」と大きな声で答えられたのです。容貌でも学歴でもありませんでした。この言葉が後に企業保険として実を結びつくことに繋がっていくことになります。私に閃くものがあるや或る証券会社の窓口にいる聡明かつチャーミングなBさんの顔が浮かびお似合いのカップル誕生となっていききました。

オープンしたばかりの銀座のホテルにて挙式。私は末席を希望したのにお歴々が着席している一番テーブルに案内され足が震えたものでした。只好意で橋渡しをただけなのに大きな契約へと進み、スミセイとのトップ会談に発展し企業保険の導入となっていききました。

さて、忘れ得ぬことに保険金のお支払がございませぬ。どの死亡にもドラマがつきものでしたが、三点お話しします。一つは静岡県宇佐美の方で、まさかの急死でしたから余りの驚きに居ても立ってもいられず、カーナビもない時代によくも箱根の山を越えて行ったものだと、山肌を覆う霧の深さに今想い出してもゾッとします。

当時、宇佐美の漁村は海風を防ぐように屋根に石がゴロゴロ沢山のっかっていました。26歳の若い旅立ちですから親は半狂乱も無理はありません。虫の知らせと云うのでしょうか、亡くなる十日程前に私のビルに 嫁さんと離婚したのでおやじに名義変更して下さい と訪ねて来ていたのです。いきさつを伝えたらお母様は それ！ 本当なの 本当なの と私に抱きついて来て問いただすのです。災害割増特約も付加されているので六千万円のお支払いになります。 と伝えると髪を振り乱しわなわな震えながら、息子が老後資金を残してくれた と泣きながら私を拜むのでありました。その後、別れた妻は保険金の請求に来られたが勿論却下され悪態をつけて帰った姿にお金は魔物だとつくづく感じたことでした。

二つはかわいい盛りの五歳の男の子、ネフローゼの病気で余りにも短い生命の終えんでした。若い両親の悲嘆は今も私の心をゆさぶります。五歳時のお祝い金が支払われたばかりなのに小さな棺に供えてありました。お別れのとき、そのお金を手に持たせるようにして、マアちゃん自転車を買うお金だよ お空をいっぱい走れよと若いお父さん お母さんは只泣くだけで、動物がうなるような泣き声でした。このとき私は初めて聖業にたずさわっていると悟ったのでございませぬ。

三つ目は三十七歳の末期がんの自動車工場の方でした。横須賀の病院へ見舞ったとき、抜け落ちた髪の毛を気にするようすばやくネットを被り、いきなり あんたの保険に入ったからがんになったんだ！ と激しい口調でお見舞品もろともテーブルにあった物が私めがけて飛んで来たのです。果物ナイフが私の右足にささり、病院内の出来ごとでしたので応急手処置をして頂き事なきを得たのでありました。右足に残る傷跡を見るたび死にゆく者の絶叫だったと鎮魂の鐘が重なるのでございませぬ。銀行員のお兄様が遠く対馬にいるお母様に代わって保険金受取りの手続きを済ませ、あなたには感謝の言葉しかありません と深く頭を下げられました。

こうして幾多の困難を乗り越え会社が私に要請した三本の柱の一角に迫り、生命保険会社の最高峰MDRT ミリオンダララウンドテーブル世界円卓会議へ出席の為、二週間の研修旅行へダラスへ派遣されたのでございませぬ。続けてIQA国際継続率賞にも選んでいただき金字塔を打ち立てることが出来まして、やっと会社へ貢献出来て肩の荷が軽くなったことを感じたものでした。

私は決してイエスマンで働いた訳ではなく、内面ではいつも反発をくりかえしていました。休養あっても休日なし。八面六臂の活動をしながら年休も切り捨てて駆けぬけた四十数年を回想すると、根底にあったのは子ども達を守る為、もし私が死んだら親のいない子になってしまう。絶対に死ぬ訳にはいかないと思ひながら常に真剣勝負で走り回っていました。次第に寄る年波には勝てず75歳を過ぎた頃からもう静かに暮らしたいと思うようになって会社へ卒業引退を申し出ると、一年あと一年と後進の為にどうぞ居て下さいと止められるのがおちでした。

私の場合、働いたこともないので職業の区別など比べようもなく厳しい営業第一線が修業の場になり鍛えられ、男性的視野を持って強く生きることが出来たのだらうと考えています。

私の両親が良い家庭婦人になるよう教育してくれたのに、料理の道も手芸への情熱も果たされず、皮肉なことでございませぬ。

私とまだ幼い子ども達を置いて死んで行った夫に対して長い間憎しみを抱いて暮らしていましたが、あれから時が流れ去り徐々に恨みも浄化して、今は安らかに眠って下さいと手を合わせるようになりました。

私が心のよりどころとなっているプロバスにお誘い、導いて下さった岩城会長に心より尊敬と感謝を申し上げます。そしてプロバスの皆様、私を迎え入れて下さり、歌も歌わない、お酒も飲まない変な人と思っただしうね。本日のつたないお話を聞いて下さり厚くお礼申し上げます。結びと致します。ありがとうございました。

2017年3月 丹野 弓子 会員



私は、長い間着物の仕事をしてまいりました。
今日は、その着物をたくさん買っていただいた方との楽しいお話をさせていただきたいと思います。

私は、横浜の十全病院で生まれました浜っ子です。
20歳で日産ディーゼルに勤務、営業事務を3年間担当し、結婚で退職しました。
40歳後半に着物の仕事を紹介され、今までやってまいりました。
その間、海外へも毎年行く機会に恵まれました。

ある時ニュージーランドに行く機会がありました。
北はオークランド、南はクライストチャーチ。
大氷河を見てきました。飛行場からセスナで行き、最後に搭乗したらなんと足元が透けているではありませんか！ 乗っている間中大恐怖でした。
ミルク色で素晴らしい景観の29kmにわたる大氷河。でも山間を縫ってゆくのが怖かったです。
セスナから降りるときに氷河で滑って足腰に大アザ！ もう大変でした。
2月に行ったのですが当地は夏(日本では冬)。
日本では富士山にも登ったことがないのに、ニュージーランドで3千メートル級の山に登るとは・・・
ホテルに着くと、社長が「セカンドバッグを忘れた！」
現金百万円とパスポートが入っていたのです。
1時間ほどたったころ何とそのセカンドバッグが戻ってきたのです。よかった、よかった。
食事の時に社長から、「夕食は俺の奢りだ」との喜びの声。

シンガポールでのこと
着物のお得意様と15名位で参加。
11月に着物を着て街を闊歩。異質な感じで大いに注目を浴びました。
また、詩吟でも大評判をとりました。

私は着物を売っていたのですが、夢も売っていたのです。
これが私の財産です。
これからはプロバスの参加も財産にしてゆきたいと思っております。

最後に 英会話勉強会で覚えた英語で "Thank you for listening"

2017年5月 金子 惇子 会員



桜の木にまつわるシドモアさんのお話をお聞きし、別れ際に横濱プロバスクラブ入会に誘われました。
入会后1年がたち、仲間として迎え入れてくれたことを感謝しております。
今は長年住み慣れた大船を離れ、国分寺に転居しましたが、プロバスクラブは続けていきます。

さて、本日は会員放談ということですが、「ラッキーカラー 占い」というものを紹介させていただきます。

○ゴルフ同好会：世話人・関口会員

第16回ゴルフ同好会

2017年3月27日 神奈川県秦野市にある秦野カントリークラブでハンデキャップ戦で行いました。
当日は天気予報で9時に雨が上がり昼には晴れ間がでると言う予報なので朝からの雨を押して12名が集合。
8:54 スタート 前半ハーフは小雨と風でハーフで終わりかと思いきや、最長老(82)の青木元会長が軽く「やるよ」のひとことげで 続行。その青木さん92で優勝。エージシュートを目指す優勝の弁。難しいコースで、ベスグロはやはり加藤豊氏の89。寒い中でも楽しいコンペでした。次回は6月6日の予定です。(関口会員 記)



第9回 プロバスヤマユリ会

第9回ヤマユリ会が2017年4月3日横須賀プロバスクラブ主催幹事千葉県にある房総カントリー東コースにて神奈川県プロバス交流会 親睦ゴルフコンペに我が倶楽部から5人が参加。このゴルフ場は来年6月に全日本プロゴルフ選手権大会を開催するにも拘らず、リーズナブルなのに素晴らしいコース。距離が長いため平均年齢は70を優に超える(失礼)為全員がゴールドティーでプレー。桜がまだ3分咲の中、絶好のゴルフ日和。横須賀プロバス4名、鎌倉プロバス4名、横浜グリーンプロバス3名、横濱プロバス5名の16名参加で大いに親睦を深める。優勝は横須賀プロバスの長老・後藤氏。今回より持回り優勝カップと青木氏の寄贈による取りきりのカップが送られました。次回は横濱プロバス倶楽部担当で 10月か11月の予定です。



○パソコン勉強会：世話人・須藤会員

横浜駅西口の県サポートセンターで毎月開催しております。

初めての方でも安心して参加できます。
お気軽においでください。



○海山同好会：世話人・樋口会員

野島公園でバーベキューを楽しみました 平成29年5月25日(木)

5月25日(木)朝方小雨が降っていたが、9時に松下、須藤、富永、持田の4名が準備のため野島公園に集合。早速9号炉と10号炉のそばにフライをはり、設営を開始した。あいにくの天候のせいでしょうか、周りの利用者は昨年より少なかった。

11時の開始頃には会員が24名集まり、ボーイスカウト仕込みの二人のシェフの料理に堪能しながら、めいめい好きな飲み物で喉を潤し会員間の懇親を深め大盛況であった。

潮干狩りは、青木、松原氏が挑戦したが、青木氏のネット袋にあさりがかかり入っていた。

午後4時過ぎには後片付けを開始し、参加者は皆大満足で家路に着いた。(持田会員 記)

参加者名(あいうえお順、敬称略)

青木、市原、岩城、岩崎、内山、大久保、小野寺、加藤(道)、神谷、金子(惇)、金子(利)、小西、須藤、ダニエルT山田、丹野、富永、平野、保谷、松下、松原、宮川、持田、森山、吉原 (24名)



○ボウリング同好会：世話人・持田会員

第18回ボウリング同好会報告 2月21日(火)

2月21日(火)第18回ボウリング同好会をラウンドワン横浜西口店で開催した。参加者は5名(金子、關、富永、樋口、持田)で4階の競技フロアに移動して競技に入った。そして、途中から見学の宮川さんが合流した。競技は2ゲームトータルで争い、1ゲーム目はほとんどの参加者のスコアが伸びず持田が158点でリード、2ゲーム目は金子さんが142点をマークして追い上げられたが、持田が2ゲームトータル284点で前回に続き優勝した。終了後、近くの居酒屋へ場所を移して懇親を深めた。



第19回ボウリング同好会報告 3月22日(水)

平成29年3月22日(水)第19回ボウリング同好会をラウンドワン横浜西口店で開催した。今回は、初参加の内山さんを含めて6名(内山、金子、關、富永、樋口、持田)で4階フロアに移動して競技に入った。1ゲーム目は、スコアが伸びず苦勞したが、2ゲーム目に入りレーンに慣れてきたのか、ストライク、スペアが出始め、大いに盛り上がった。競技結果は2ゲームトータル274点で持田が優勝した。終了後、天理ビル25階にある居酒屋で懇親会参加の3名(加藤(豊)、宮川、保谷)が加わり9名で懇親を深めた。



第20回ボウリング同好会報告 4月26日(水)

4月26日(水)ラウンドワン横浜西口店で開催した。今回初参加の小野寺さん丹野さんを含めて過去最多の9名が参加した。競技参加者は7名(金子、關、丹野、富永、樋口、保谷、持田)で6階の競技フロアに移動して、ボウリングを開始した。1ゲーム目は金子さんがターキーを出して150点越えを達成し、2ゲームトータル310点で優勝した。終了後、近くの居酒屋で宮川さんを加えて懇親を深めた。



(以上 持田会員 記)

○英会話勉強会：世話人・加藤 豊 会員

開港記念会館隣の東ビルで毎月開催しております。

ネイティブな米語が大好評です。
勉強会後の懇親会も楽しいですよ。
お気軽にご参加ください。お待ちしております。



< 編集後記 >

今回は、4月の福島への移動例会と女性会員3名の会員放談を中心に編集しました。イベントが盛り沢山で記事には事欠きませんでした。ご寄稿有難うございました。この第22号をもって無事に3回の発行を終えることができました。次号からは新たな編集人をお願いすることになりますが、引き続き皆さま方のご寄稿、写真のご提供等をお待ちしております。この1年間のご支援、ご協力有難うございました。 神谷 恒夫